

『ふりかえり もんだい8』

上の絵のたのしいかぞえかたをかんがえます。
□の中のすうじにあつたかぞえかたで書こう。



② コート

5	一 いつちやく
---	---------



① はち

6	一 いつひき
---	--------



【れい】 ヘリコプター

	一 いつき
--	-------

8	2
---	---

9	2
---	---

3	さんき
---	-----



⑤ だるま

5	一 いつたい
---	--------



④ すいてき

7	一 いつてき
---	--------



③ コップのみず

4	一 いつぱい
---	--------

10	2
----	---

10	2
----	---

9	3
---	---

④

ウ イ ア
おおさま

③

ウ イ ア
ぼおし

②

ウ イ ア
ちょおちょ

①

ウ イ ア
りょーり

つぎのアからウのことばのうち、
たらしい書きかたをえらぼう。

⑥

りゅ

⑤

きせ

④

ま

③

う

②

いもの

①

せ

つぎのことばの□のところに、あるひらがな一もじを入れると、ことばがかんせいします。□にあてはまるひらがなを下からえらんで書こう。

か と ん す | う



②
ほん

8	一 いつさつ
---	--------



①
えんぴつ

8	一 いっぷん
---	--------



【れい】とけい（じかん）

一 いちじかん

9	4
---	---

9	3
---	---

3 さんじかん

上の絵のたらしいかぞえかたをかんがえます。
□の中のすうじにあつたかぞえかたで書こう。



⑤
いちご

8	一 ひとつぶ
---	--------



④
とけい（ふん）

5	一 いっぷん
---	--------



③
くつ

7	一 いつそく
---	--------

10	2
----	---

10	2
----	---

10	2
----	---

④

ウ イ ア
けえさつ
けいさつ
けーさつ

③

ウ イ ア
えいご
ええご
えーご

②

ウ イ ア
けえさん
けいさん
けーさん

①

ウ イ ア
とけい
とけえ
とけー

つぎのアからウのことばのうち、
たらしい書きかたをえらぼう。

⑥

うち

⑤

せ

④

るけ

③

のびあ

②

ぶら

①

しゃき

つぎのことばの□のところに、あるひらがな一もじを入れると、ことばがかんせいします。□にあてはまるひらがなを下からえらんで書こう。

き

も

あ い よ | し ん

つぎの文しようをよんでといに答えよう。

つばきは、まじよの手がみを手にとつて、もう

いちどよくよみました。そして、かおを上げて、

どうろの左右さゆうをたしかめました。車くるまは来きません。

どうしましようか。えい、おもいきつてどうろを

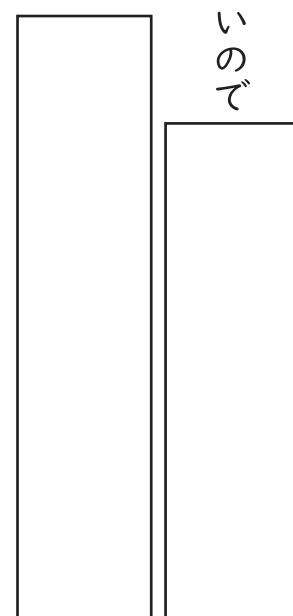
走はしつてつつきりました。そのいきおいのまさくの下したをくぐりぬけ、つばきはまじよのもりにとつにゅうしました。あたりはうすぐらく、とした氣けはいがつばきをつつみました。



(2) 一せん②「どうしましようか」とあります
が、何なにを、どうしようとかんがえましたか。□の中なかに入はいることばを書かこう。

車くるまが来きないので

どうろを



かんがえた。

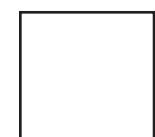
と、

(3) □には、どのようなことばが入りますか。アからウからえらぼう。

ア ひんやり

イ ぽつかり

ウ しょんぼり

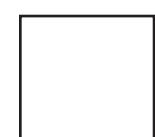


(ー) 一せん①「まじよの手がみ」とあります
が、どんなことが書かかれているとおもいますか。アから
ウからえらぼう。

ア まじよのもりへのちず

イ どうろのわたりかた

ウ さくの下したのくぐるぬけかた



つぎの文しようをよんてどいに答えよう。

(2) 「」には、どんなことばが入りますか。

アからウからえらぼう。

空色のつるは、えだからえだへからまつて、森
のおくへつづいていました。つるには、あちこち
葉っぱが出て、ところどころ青むらさきや赤む
らさきのみまでついています。それが、つばきが
歩くとスルスルと、まるで「」と

ア あつちへ いけ。
イ どこへ いくの。
ウ こつちへ おいで。

言つて いる よう に ひつこんで ゆく の です。そのと
きに、葉は^② やみをそつと 地じめん に おとし て ゆく
の で、そ が ま でみ ちし べの よう でし た。そ
う か、このあとをた ど ねば いい ん だ、と つばき は
おも い ま し た。

(3) 一せん②「まるでみちしるべのようでした」と
あります が、何が森のおくへつづいて いる の で
すか。□の 中 に 書 こ う。

(一) 一せん①「森もりのおくへつづいていました」
と あり ます が、何が森もりのおくへつづいて いる の で
すか。□の 中 に 書 こ う。



つぎの文しようをよんてどいに答えよう。

きつねの子が森で、黄色いばけつを見つけました。それは、まえからほしかった黄色のばけつでした。そこで一しゆうかんまって、だれもとりにこなかつたら、じぶんのものにしようときめました。きつねの子はまい日ばけつを見にいきます。

そして、^①どうとう月よう日。あさはやく、きつねの子がきてみると、ばけつはなくなっていました。「ざんねんだなあ。」くまの子がきて、いいました。「きのうは、ちゃんとあつたのにね。」うさぎの子もきていました。「もちぬしがとりにきたのかな。」「だれかがとおりすがりにひつていつたのかしら。」くまの子と、うさぎの子が、くちぐちにいいました。(どつちでもいい)と、きつねの子は、おもいました。たつた一しゆうかんだつたのに、ずいぶん長いこと、黄色いばけつといつしょにいたような気がしました。そのあいだ、あの黄色いばけつは、ほかのだれのものでもなく、いつもじぶんのものだつたと、きつねの子は、おもいました。「いいんだよ、もう。」

きつねの子は、あつさりいうと、かおをあげて空を見ました。^{こた}青い空が、どこまでもひろがっていました。「いいんだよほんとに。」きつねの子は、もういちどそういうと、くまの子と、うさぎの子にむかってニコつとわらつてみせました。

(一) —せん①「どうとう月よう日」とあります、「どうとう」から、きつねの子のどんな気もちがわかりますか。アからウからえらぼう。

- ア おもつたとおり げつようびになつた。
 イ まちづけて やつと げつようびになつた。
 ウ げつようびになつて こまつたなあ。
 エ ほんと きょうは げつようびなのかな。



(2) つぎのことばは、だれがいつたことばですか。あとの□の中になまえを書こう。

「ざんねんだなあ。」

「きのうは、ちゃんとあつたのにね。」

「もちぬしがとりにきたのかな。」

「いいんだよ、もう。」

の
子_こ

の
子_こ

の
子_こ

の
子_こ

(3) 黄色いばけつがなくなってしまったのがわかつたとき、くまの子とうさぎの子は、どうおもいましたか。□の中に二つ書こう。

(4) きつねの子は、なくなつてしまつた黄色いばけつをどうおもつていますか。アからウからえらぼう。

ア ちょうど、あきてしまつたのでなくなつてほつとした。

イ こころの中にあたたかくのこつている。

ウ だれかにもつていかれたのがくやしくてわすれられない。